

# ○募集要項○

募集人員：10名

選考試験：(1)方法：面接および筆記試験  
 (2)日時：下記の日程から選択できます  
 ①令和6年7月20日(土)  
 ②令和6年8月31日(土)  
 ※①②共に7月12日(金)願書必着

(3)場所：滋賀県立総合病院

身分：ジュニアレジデント(滋賀県会計年度任用職員)

給与：1年目月額 おおよそ 321,000円

2年目月額 おおよそ 329,000円

賞与有(年2回)

時間外勤務・宿日直・通勤手当等別途支給

健康保険：有り(社会保険加入)

当直：約2~4回/月(翌日勤務は11時で終了)

休暇：週休2日、夏季休暇6日、年末年始各3日、  
年休1年目10日、2年目11日

住居：職員宿舎あり(病院まで徒歩3分)

※希望者多数の場合は抽選

1K、(面積:26.40平方メートル)、

使用料月額：約7,200円(共益費別途)

その他：院内保育所、各育児支援の取り組み有

当院は、働き方改革に準じて、適切な勤務間インターバルの取得、  
取得困難場合は代償休息を制度化しています。

## ○病院見学○

実施時期：随時

受付方法：下記フォームよりお申し込みください。  
見学日およびスケジュール等調整します。

問合せ・申込み：総合病院レジデントセンター

Mail resi-center@mdc.med.shiga-pref.jp

TEL 077-582-8034(総務課直通)

1日で1~2つの診療科の見学が  
できます。初期研修医がローテーシ  
ョンで在籍している診療科の見学が  
したいといった希望も調整しますの  
でございましたらお知らせください。  
職員宿舎の見学もできます。



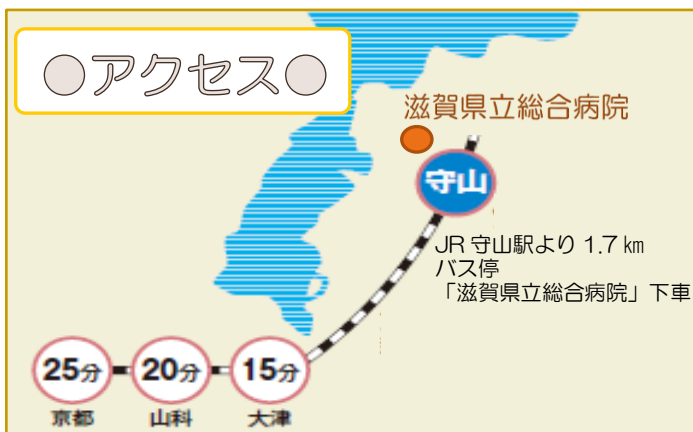
## ○初期研修医の出身大学一覧○

	R6	R5	R4	R3	R2
滋賀医科大学	3	6	3	2	3
北海道大学	1			1	
三重大学	1				1
徳島大学	1				
北里大学	1				
富山大学	1				
鳥取大学	1				
京都大学		2		3	
大阪医科薬科大学		1			
岩手医科大学		1			
福井大学			3		
浜松医科大学			1		
金沢医科大学			1		
山梨大学			1		
信州大学			1		
金沢大学				2	1
近畿大学					1
新潟大学					1
東京大学					1
合計	9	10	10	8	8

## ○初期研修修了後進路○

修了年度 修了人数	当院 専攻医	京大 専攻医	滋賀医大 専攻医	他大学 専攻医	他病院 専攻医	その他
R5年度 9名	4名 (内科系3名 外科系1名)	2名	1名	1名	1名	0名
R4年度 8名	1名 (内科系1名)	4名	0名	0名	1名 (県内0名)	2名
R3年度 8名	2名 (内科系2名)	2名	2名	0名	2名 (県内2名)	0名
R2年度 8名	2名 (内科系1名 耳鼻科1名)	0名	2名	1名	3名 (県内1名)	0名
R1年度 6名	2名 (内科系2名)	3名	0名	0名	1名 (県内1名)	0名

## ○アクセス○



滋賀県立総合病院  
Shiga General Hospital



〒524-8524

滋賀県守山市守山5丁目4番30号

電話 077-582-5031

ホームページアドレス

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>

2023年4月発行

# 2025 年度



## 滋賀県立総合病院

### 初期臨床研修医募集要項

プログラム  
スケジュール  
(予定)

一年次	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
	内科 30 週間 (オリエンテーション含む)								救急 8 週間 (うち 4 週麻酔科)		麻酔科 4 週間	自由選択 4~6 週間	外科系 4 週間
時間外救急外来対応													
二年次	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
	地域 4週間 以上	小児科 4週間 以上	精神科 4週間 以上	産婦人科 4週間 以上	自由選択								
時間外救急外来対応													

※一般外来研修は内科系・外科系・地域医療・小児科研修中に通算で 4 週間以上となるように行います  
※令和 6 年 4 月時点での予定です 最新情報は当院 HP にてご確認ください

総合病院での  
選択科目

消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腫瘍内科、免疫内科、糖尿病内分科、腎臓内科、脳神経内科、老年内科、外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、緩和ケア科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科

協力施設での  
選択科目

●産科（大津赤十字病院、近江八幡市立総合医療センター、滋賀医科大学医学部附属病院、長浜赤十字病院）  
●小児科（滋賀県立小児保健医療センター、滋賀医科大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、近江八幡市立総合医療センター、済生会守山市民病院）●精神科（滋賀県立精神医療センター、医療法人周行会湖南病院、公益財団法人豊郷病院）●選択救急（済生会滋賀県病院、滋賀医科大学医学部附属病院）●地域医療（ヴォーリス記念病院、東近江市永源寺診療所、地域包括ケアセンターいぶき、聖隷淡路病院、守山・野洲医師会の診療所等）●滋賀医科大学医学部附属病院は上記以外の全ての診療科を選択可

●病床数…535 床 ●常勤医師数…144 名 ●1 日平均外来患者数…926 名 ●1 日平均入院患者数…379 名

●平均在院日数…12.1 日（緩和ケアを除く） ●年間総手術件数…8699 件

※常勤医師数：令和 6 年 4 月時点

●1 日平均救急外来患者数…13 件 ●年間救急車搬入台数…3434 件

※他 令和 5 年度実績



## 病院長より医学生の皆さんへ

滋賀県立総合病院総長・病院長 足立 壯一



初期研修を開始される医学生の皆さん、これからの医師人生のスタートの舞台として滋賀県立総合病院で第一歩を踏み出してみませんか。

初期研修に向けて皆さんは、医療技術の習得や患者さん対応のスキル向上など、様々な希望や目標設定をされておられることと思います。

当院は平成30年1月から滋賀県唯一の県立総合病院として生まれ変わりました。令和3年度から救急科を設置し、二次救急の輪番にも参加しています。すべての領域の疾患を扱っており、それぞれの専門性を有した一流の医療スタッフが、患者さんに寄り添うチーム医療を実践しています。

また、複数の診療科や部門が連携してひとつの疾患を多角的・総合的に診療、治療するため、高度な専門性を有した10の高度医療センター（脊椎・脊髄、乳腺、肺がん、人工関節、放射線治療、心臓血管、消化器、脳卒中、頭頸部、遺伝子診療）を設置するとともに、都道府県がん診療連携拠点病院として県内の多くの病院と連携してがん診療のレベルの向上に取り組んでいます。

また、令和7年1月には滋賀県立小児保健医療センターと統合し、医療機能の強化と経営強化を目指します。

当院での研修においては日々の業務に忙殺されることなく、じっくりと症例を深く掘り下げて探究心を養い、その積み重ねが将来の医師としての姿勢形成に大きな影響をもたらすことになるでしょう。また、職場においては先輩あるいは同僚の医師、看護師やその他の医療スタッフ、さらに事務系の職員との関わりの中で多くを学んでいただけたと思います。

## プライマリ・ケアから高度専門治療まで

### 幅広い研修を！

プログラム責任者 松村 和宜



#### ①初期研修医が増えています！

2学年で20名と充実しています。

また、京都大学医学部附属病院と滋賀医科大学医学部附属病院からのたすき掛け研修医も受け入れています。

#### ②救急診療に力を入れています！

時間内・時間外問わず救急患者の初期診療を行い、検査計画、治療計画立案を行っていただきます。もちろん最終的には上級医のバックアップつきです。このシステムにより早期に患者さんの診察、診断および治療能力が格段に向上します。

#### ③カンファランスを充実しました

研修医カンファランスの定期開催を週1回に増やし、2年目研修医主導の救急ケースカンファランスを行います。加えてNEJMの抄読会、研修医手帳の確認を盛り込み、充実させました。

今日の臨床サポート、procedures consult（Elsevier社）、Clinikal Keyによる教育サポートも充実。

以上の新しい取り組みに加え、従来通りの都道府県がん診療連携拠点病院として各専門領域の高度医療、院内開催の各種セミナー（がんセミナー、医療安全セミナー、基礎研究セミナー）など最新の技術、知識に接することが可能です。研修終了後に次のステップで高度な専門医療を習得するための基礎を固めるために、救急、プライマリ・ケアから専門医療まで幅広く研修することを目標にしています。

内科系においては初期研修から新内科専門医制度、サブスペシャリティ研修にも対応。ぜひ一度見学にお越しください。

# 滋賀県立総合病院の初期研修医



## 1年目 医師よりメッセージ

当院で研修するメリットの一つとして、指導医やコメディカルの方々に質問しやすい環境が整っていることがあります。まだ研修が始まったばかりでわからないことが多いですが、当院の指導医やスタッフの方々は優しい方が多く、質問すれば丁寧に回答して下さいます。また、医局は初期研修医と他の先生方で分かれていないため、3年目以降の先生方にも気軽に相談することができます。

そのほかのメリットとして診療科が一通りそろっていることがあげられると思います。内科系に強い病院と思われがちですが、外科系の診療科もほぼそろっており、将来の診療科がまだ決まっていなくてもおすすめです。

少しでも当院に興味を持たれた方は気軽に見学に来てください。お待ちしております。

## 2年目 医師よりメッセージ

当院は、内科系を中心に幅広い診療科を備え、外科系やマイナー系の診療科も充実しています。この多岐にわたる診療科が特徴であり、一般的な疾患から専門的な症例まで、幅広い臨床経験を積むことが出来ます。また、研修内容において、1年目には内科全般をローテーションし、2年目には長期の自由選択期間が設けられています。この自由な期間を活用することで、初期研修中に将来の診療科を決める人も、すでに診療科が決定している人も十分に満足していただけます。さらに、各診療科には経験豊富な指導医が多数在籍し、日々の臨床における悩み事や将来のキャリアに関する相談にも親身に応じてくれます。指導医のもとで、臨床医としてのスキルや知識を高めることも出来ます。病院の雰囲気は協力的であり、研修医同士の仲も良く、指導医とも円滑にコミュニケーションができ、働きやすい環境になっています。是非、実際の雰囲気を感じ取るために、見学にお越し下さい。

